

アスパラガスの伏せ込み促成栽培に適する品種

福島県農業総合センター 会津地域研究所

部門名 野菜－アスパラガス－作型・栽培型

担当者 鈴木美枝・長谷川優子・堀越紀夫

I 新技術の解説

1 要旨

アスパラガスの伏せ込み促成栽培には「ワインデル(PA100)」が適している。

- (1) 年内の規格内品収量および規格内品収量ともに「ワインデル(PA100)」が最も多い。「福島交10号」、「太宝早生」がそれに次、いずれも「ウエルカム」と比較し多い(表1、図1)。
- (2) 若茎1本あたりの重量は、「ワインデル(PA100)」が最も重く、次いで「太宝早生」が重い(表1)。
- (3) 商品化率は「ウエルカム」より、いずれの品種も同等もしくは上回る(表1)。

2 期待される効果

- (1) 単価の高い年内収量を確保することにより、収益力の強化に繋がる。
- (2) 伏せ込み促成栽培の導入により、アスパラガスの安定生産が期待される。

3 適用範囲

県内全域

4 普及上の留意点

- (1) 年内収量を確保するため、株の掘り取りは、会津地方では11月中旬以降とする。
- (2) ハウスは無加温3重被覆、伏せ込み床として粉殻堆肥を使用し、地温設定17°C以上を確保する。
- (3) 伏せ込み終了後、十分散水し伏せ込み資材が沈んだら、さらに伏せ込み資材を充填する。

II 具体的データ等

表1 規格品の年内収量および総収量の品種比較(2013年)

試験区	年内規格内品収量 (g/株)	年内規格内品平均重量 (g/本)	規格内品収量 (g/株)	商品化率 (%)
ワインデル(PA100)	244.7	22.5	381.9	86.5%
太宝早生	167.0	18.6	270.8	88.6%
クリスマス特急	121.2	14.0	201.1	82.7%
福島交10号	190.1	18.1	299.3	88.5%
(対照)ウェルカム	137.7	16.5	252.7	79.6%

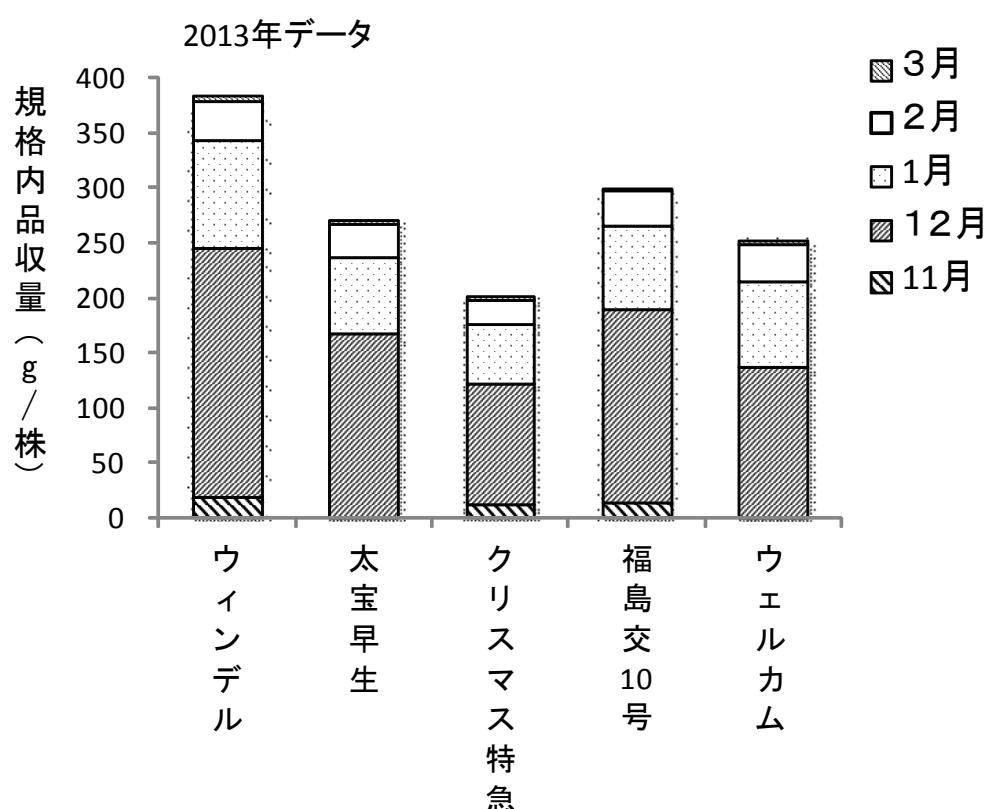


図1 時期別規格内品収量の品種比較(2013年)

III その他

1 執筆者

堀越 紀夫

2 成果を得た課題名

- (1) 研究期間 平成23年度～25年度
- (2) 研究課題名 会津地域の特色を活かした野菜・花きの高品質安定生産技術の確立
(アスパラガスの伏せ込み促成栽培の安定生産技術の確立)

3 主な参考文献・資料

- (1) 「冬季生産を可能とするアスパラガス伏せこみ栽培」(2011)(独)農研機構 九州沖縄農研 技術紹介パンフ
- (2) 平成24年度実用化技術情報「アスパラガスの伏せ込み促成栽培に適する伏せ込み資材と加温法」